【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公開番号】特開2001-139819(P2001-139819A)
【公開日】平成13年5月22日(2001.5.22)
【出願番号】特願平11-324839
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　83/10　　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ 283/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　83/10
Ｃ０８Ｆ 283/12

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月7日(2006.11.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明のシリコーンオイルまたは有機オイルのエマルジョンの製造方法は、非架橋性のシリコーンオイルまたは有機オイルを含有する、(Ａ)一分子中に少なくとも２個の脂肪族不飽和結合を有する有機化合物、(Ｂ)一分子中に少なくとも２個のケイ素原子結合水素原子を有する含ケイ素有機化合物、(Ｃ)ヒドロシリル化反応用触媒、および必要に応じて(Ｄ)一分子中に少なくとも１個のアルケニル基を有するオルガノポリシロキサンからなる液状架橋性組成物(但し、前記の非架橋性のシリコーンオイルまたは有機オイルの含有量は、この液状架橋性組成物の架橋物が前記の非架橋性のシリコーンオイルまたは有機オイルを保持し得る量をこえる量である。)を水中に分散させてヒドロシリル化反応により架橋することを特徴とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
本発明のエマルジョンの製造方法では、このような非架橋性のシリコーンオイルまたは有機オイルを含有する液状架橋性組成物を水中に分散させた後、これをヒドロシリル化反応により架橋させることを特徴とする。この液状架橋性組成物を水中に分散させる方法としては、例えば、ホモミキサー、パドルミキサー、ヘンシェルミキサー、ホモディスパー、コロイドミキサー、プロペラ攪拌機、ホモジナイザー、インライン式連続乳化機、超音波乳化機、真空式練合機等の装置により上記の組成物を水中に分散させる方法が挙げられる。